

眼科病棟における清潔の再検討

中4階病棟 発表者 清澤京子

岩間悦子・今井久子・一之瀬知枝・飯田隆子
上杉利子・小坂美津子・柴野恵子・立沢あきみ
中島清美・藤岡治子・松原美恵子・丸山尚子
南沢順子・吉村 照

I はじめに

身体の清潔を保つということは、人間の基本的欲求のひとつである。しかし、入院中は安静・手術などによりそれが制限されてしまうことが多い。

眼科においては、網膜剥離で網膜下液を排除したり、剥離の進行防止、網膜の早期復位をはかるため、一定期間の安静を要する。また、白内障・緑内障では、術後の物理的刺激に起因する虹彩脱出、硝子体脱出、前房形成不全、出血及び感染予防のために安静を要し、また安静解除後も、入浴や洗顔、洗髪などが一定期間禁止される。

そのうえ、入院患者の中で、70才以上の高齢者の占める割合も高く、環境の変化や視力低下により、清潔に対して無頓着となる傾向もある。また、高血圧症、糖尿病などを合併しており全身的管理を必要とする。

このような患者には、より一層日常生活、清潔に対する援助が必要になってくる。そこで、私達は今までの清潔に対する援助を振り返り、患者の感想も聞きながら少しでも快適な入院生活が送れるよう、個人の生活習慣に近い援助をと工夫してみたのでここに発表する。

II 研究期間

昭和56年6月～昭和57年4月

III 方 法

- (1)入院患者に安静期間を中心として、不快な点を面接により感想を聞いてみる。
- (2)その結果をもとに、問題をあげ、検討し改善していく。

IV 実施・評価

患者の感想をもとに看護者間で話し合い問題点を三つに大別した。

- 1.安静中の洗面介助と合嗽、歯みがきなどの一連の清潔に対する問題。
- 2.洗髪、ベッドバスの方法や回数の問題。
- 3.眼周囲の清潔として、当て金の交換やふき綿の問題。

これらの問題と改善した点、その評価は次の通りである。

- 1.安静中の歯みがきなど清潔に対する問題について

①歯みがきは、朝の洗面介助時のみに行っていたが、手術2日前に患者の習慣を聞き、チェックリストに書きとめ、できるだけ患者の習慣にあわせて介助するようになった。

②網膜剥離のように安静の長くなる場合には、ガーグルベースを用いた含嗽練習を、手術2日前の排尿練習といっしょに行うようにした。実際に仰臥位のまま行うため、手術後安静になってからも安心してスムーズに含嗽できるようになった。

③この含嗽には、吸いのみを用いていたが、「水量が少なく十分にすすげない。」という意見があったため、マジックカップを利用してみた。これは吸い口も二種類あり、空気孔をふさぐことにより自分で水量を調節できる。マジックカップは安静Ⅱ度が解除されるまで個人用に貸し出し患者の希望するほうを利用している。

④義歯（入れ歯）の扱い方と清潔法。はずした義歯は容器に水を入れ浸しておくようにし、ごみのはいらぬよう覆っておく。朝夕は必ず食後にも、歯ブラシを使って水道でよく流し洗いをする。

⑤安静の長い患者には、各個人の清潔面のチェックリストを作り、温度板にはさんで、歯みがきの習慣や、清潔に対して介助したこと、その回数を書き込むようにした。これにより、患者の習慣にあわせて援助できるようになってきた。

2. 洗髪とベッドバスについて

ベッドバスとは温湯と石けんを用い、蒸したタオルにて清拭する。当眼科ではこの方法で行なっている。

①従来より使用していた清潔表を、朝の申し送り時にチェックし、入浴許可の確認を早く行い、洗髪、ベッドバスの計画を立てるようにする。この結果、午前中からでも、わずかな時間を利用して洗髪を実施するようになり、回数も増えてきた。

②おしぼりを入れて利用していた清拭車に、別に蒸したタオルを作り、入浴できない患者に週2回配る。自分でできる患者は自分で行うようにする。簡単な清拭をする回数を増やし、安静中の患者は介助しながら更衣も行う。この蒸したタオルは心地よいと好評であるので、更に配る回数を増やし習慣化していきたい。

③洗髪は、ストレッチャーに仰臥して、洗面器にお湯を溜め、ひしゃくを利用して行っていたが、水道にY字型のシャワーを取り付けた。これは常に温湯で洗えシャワーが気持ちよいと好評である。また、看護者一人でも簡単に洗髪が行えるため能率化につながった。

④安静の長い患者にはアルコール結髪を術後3日目と6日目を目安として行う。しかしアルコールは患者により、快・不快が異なるので意見を聞いて行う。また、結髪は朝の洗面介助時に行っている。

3. 眼周囲の清潔として

(1) 当て金について

①術直後の判創膏でとめた当て金は深夜勤務者が、朝取りはずしていたが、医師と相談して診察時に交換するようになった。これにより、当て金をせず放置するということがなくなった。

②点眼開始になった患者は、ひも付きの当て金にするが、この眼帯は決まった交換日がなかったので、点眼薬・眼脂などで汚れてしまうことが多かった。それでひもの付いた清潔な当て金を週2回、定期的に交換するようになった。交換が容易にでき、きれいで気持ちよい、との声がかかれた。

(2) ふき綿については

①従来のふき綿は2×4cmの大きさに手作りして、水道水で浸らせたものを保存しシャーシに小分けする。術直後の患者の診察にはオートクレーブに出したものを使用していた。このふき綿でも

特に問題はおこらなかったが、どの位の細菌があるかと、日常用いていたふき綿を普通寒天培地で培養してみたところ、1コのふき綿から平均100~1000コの細菌が検出された。これは手指についている細菌と思われる。このため現在は4×4cmのカット綿を2つ折りにしたものでふき綿を作り、オートクレーブに出し、これを1日に使いきるようにして使用している。清潔なふき綿が使用できるように作り方も簡単になった。

②オートクレーブに出したふき綿は、点眼している患者全員にプラスチックシャーシに入れて配り、眼脂が多い時、点眼する時に自由に使用してもらう。眼をティッシュペーパーで拭いていた患者もいたが、安心して使用でき、また眼周囲の清潔が保て好評である。ふき綿が終了したら適宜補充する。

V 考 察

入浴、洗髪、洗顔、歯みがきなどの一連の清潔は、日常生活において何ら制限されることなく個人の生活習慣にあわせて行なわれている。しかし、入院生活においてその最低限の欲求すら満たされないこともある。たとえ疾病による制限が大きいとしても、看護者はその中からより日常生活に近い援助をしていかななくてはならない。

今回、私達が実施した内容はその中のほんの一部にすぎない。しかし、個人の習慣にあわせた歯みがき、マジックカップの使用、チェックリストの作成、清潔表の再検討、清拭車の利用などにより、より近いものになってきたと思う。また、ふき綿を個人もちにしたことで、眼脂があればいつでも拭くことができる。高令者の場合、そのままにしておくことも多く、気づいた時にはすぐに拭けて不快感を軽減することができた。

アルコール結髪については、アルコールの温度により効果が異なる、という報告もあり患者の意見を聞き更に検討していく。

入浴・洗髪などの期間の改善は、眼と感染との関連性についてははっきりした文献がなく、どの程度の物理的刺激が悪影響を及ぼすのかわからなかった。また医師の考え方による意見の相違もあり、現在も医師と話し合いをもって検討中である。

この研究をすすめていく中で、身辺整理が十分行われていない老人が多く、モーニングケアの重要性を再認識し、各個人にあったモーニングケアを心がけてきた。

これらの清潔に対する援助は、患者に接する機会が多くなり、観察・患者理解の一助となり、人間関係もスムーズに保たれていくと思う。看護者の自己満足に終わることなく、一人一人の基本的欲求を満たすことを目的として更に充実させていきたい。

VI おわりに

今回の研究は、日常の看護の中で患者の清潔面の改善であり、口腔の清潔ひとつにしても個別性があり、習慣にあわせた援助は、むづかしいものだと思った。

最後に、御協力して下さった患者さん、及び先生方、医療技術短大・山田先生に深く感謝いたします。

参考文献

- 出雲常子他；内眼疾患術後の看護、現代看護 現代看護社 第3巻 第9号 1981
- 松下明美他；眼科病棟における安静を考える、臨床看護 ヘルス出版 第5巻 第13号 1979
- 桑野タイ子；看護関係における清拭技術の役割、臨床看護 ヘルス出版 第7巻 第5号 1981
- 相澤真理子他；アルコール洗髪の温度別洗浄効果、月刊ナーシング 学研 第2巻 第3号 1982

資料1

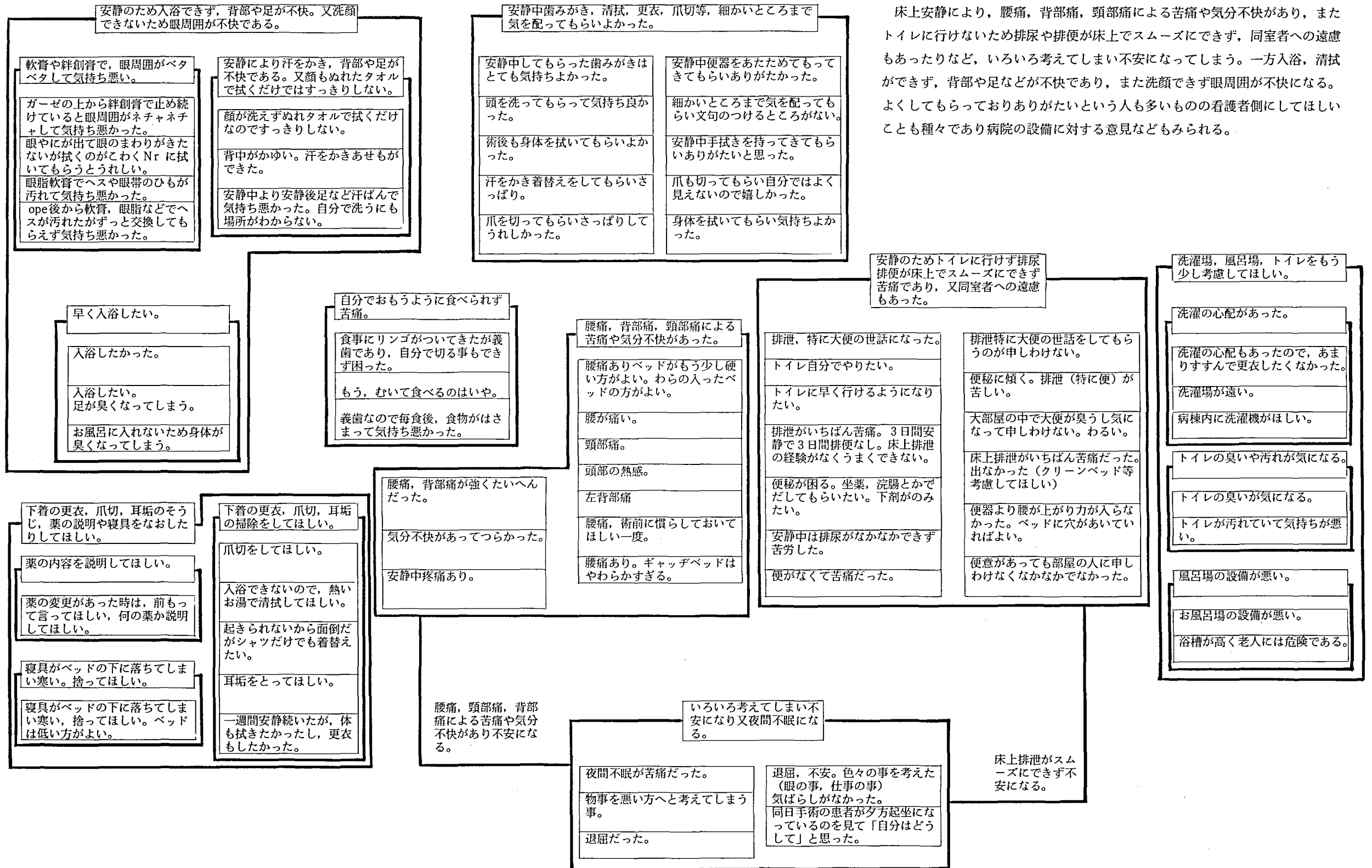
患者さんへの質問と患者さんよりの声のまとめ

<p>1. 歯みがきは朝するだけで充分ですか。他にしてほしいのはいつですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦いつもは、朝と寝る前にしていたが朝だけでよい。 ◦家と同じ朝1回で充分。寝たままの歯みがきは、初めて。他の病院ではしなかった。 ◦朝夕、してほしい。寝ていると口が乾く。 ◦義歯……1日2回してほしい。 ……1日3回食後に洗ってほしい。
<p>2. 歯みがき後、汚水をガールベースに出しますがうまく出せますか。どういう所がやりにくいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦こぼすのではないかと心配はあったが、うまくできた。コップを覚えられればよい。 ◦うまくできたが、コップ1杯（吸のみ1杯）の水では、ゆすぎが充分でない気がした。 ◦やりにくいが仕方ない。少しかたむければできる。 ◦汚水をはき出す要領がわからなかった。 ◦うまくいかず、あまりさっぱりしなかったが仕方ない。口の中が泡でいっぱいになってしまう。
<p>3. しばったタオルで顔を拭くのはさっぱりするでしょうか。 顔を拭く時、自分ですると看護婦にしてもらうのと、どちらが良いですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦さっぱりする。気持ちよかった。 ◦熱いタオルで顔をむすのは気持ち良い。 ◦ふだんは洗っていたのだから、それに比べればものたりないが、ねているのだから仕方ない。 ◦術眼が心配だが、他は自分でしたい。 ◦自分でした方がさっぱりする。
<p>4. 詰所で、洗髪するのは気持ち良いですか。何日おきにしてほしいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦気持ちよかった。週2回程してほしい。 ◦湯かげんよく、眼に水のかかる心配もない。 ◦気持ちよかったが、もっと強くやってほしい。 ◦気持ちよかった。安心して洗ってもらえる。 2・3日に1回。
<p>5. 詰所で蒸しタオルを使ってする清拭は気持ちいいですか。もっとこうしてほしいという希望はありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦気持ちよいが、あまりごしごしこすらないで。 ◦垢がとれるので気持ち良い。 ◦訓練されていて、考えてあってよい。 ◦気持ち良かった。5日に1回位してほしい。 ◦あとで皮膚がかさついてしまった。石けん分が残るのではないか。もっと簡単に拭いてもらうだけでもよい。 ◦奥さんにしてもらい、看護婦にはしてもらわなかった。安静解除になって自分でした。 ベッド上で足浴してもらったが気持ちが良く疲労がとれた。
<p>6. 眼脂が多い時どうしていますか。何かしてほしいという希望はありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦自分でタオルで拭いても良いと言われてからは自分でやっている。その前は看護婦にふき綿で拭いてもらった。とても気持ちよかった。

	<ul style="list-style-type: none"> ◦眼は術後数日はそっとしておきたい気持ち。 ◦顔を拭く時に、タオルで静かに眼脂をとる。 ◦自分では何もしない。拭いてもらった方が気持ち良い。 ◦朝看護婦に拭いてもらった。夕方も清拭してほしい。 ◦チリ紙で拭いていた。感染がこわかった。 ふき綿を術後2週間目にもらったが、もっと早くほしかった。消毒したものがほしかった。 ◦回診の前にしか看護婦が拭いてくれなかった。 ◦ふき綿は、術後定期的に配ってほしい。 眼脂流涙が多く特にほしかった。 ◦自分で専用のハンカチを作ってそうっと拭いていた。 ◦拭き綿をもらって、自分で朝夕点眼時拭いていた。 ◦ティッシュペーパーで、流涙を拭いておいた。 ◦眼脂多く、拭いてもらった。術後ふき綿を手元にほしい。 ◦診察の前に拭いてもらっている。その他の時はかまわな いでいるから看護婦に拭いてほしい。
<p>7. 当て金が汚れていて、不快だった事がありますか。何日で交換してほしいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦眼脂で汚れた時は、いやだと思い交換してもらった。何日も同じものをしていて、大丈夫かしらと思ったことはあるが、看護婦に心配ないと言われてからは安心。汚れた時は随時かえてもらえば良い。 ◦自分のものとしてあるから別に気にならない。 ◦汚れたら交換してほしい。 ◦ヘスはあまりかえてもらわなかった。ガーゼはよく交換してもらった。 ◦ヘスの下方が一番汚れる。看護婦の判断で交換してほしい。 ◦ヒモを通した時は、何日に1回か交換してほしい。
<p>8. ひげそりは何日に1度やってほしいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦毎日は無理だろうから、せめて2、3日に1回はしてほしい。慣れた人にしてほしい。 ◦自分でできるので用意だけしてもらえれば良い。 ◦安静中のため、それほど苦にならなかった。 ◦3日間ひげそりをしてもらわなかった。
<p>9. 安静中の清拭や更衣はどうしていますか。またどのようにやってほしいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◦起きられないから面倒だがシャツだけでも着替えたい。あまりいじられると眼の事が気になるから、そっとしておいてほしい。 ◦清拭は奥さんにしてもらっていた。仕方ないので1週間同じものを着ていた。 ◦軀幹の清拭は、看護婦に頼んだ。気持ち良いので、2、3日に1回してほしい。

- 更衣は看護婦や学生さんにしてもらった。
清拭もさっぱりして気分良くなった。
 - 2週に1回清拭してもらっただけなので、週1回はしてほしい。更衣は家人にしてもらった。
 - 3日間の安静中、更衣清拭せずそういうものと思っていた。
 - 洗濯の心配もあったので、あまりすすんで更衣しなかった。
-

資料Ⅱ 「安静中に患者さんが思ったこと」
 タイトル 「腰痛、床上排泄など種々な苦痛から不安になってしまう。」



資料Ⅲ

疾患別における安静度

	白内障	緑内障	網膜剥離
安静度	術後翌日回診後まで 安静Ⅰ度	術後翌日回診後まで 安静Ⅰ度	術後7日頃まで安静 Ⅰ度（個人差あり）
洗 髪	術後7日目頃より介助で	術後7日目頃より介助で	術後10日目頃より介助で
洗 顔	翌日より仰臥位で顔面清拭。 安静解除から退院まで顔面 清拭。 （医師の許可あれば洗顔可）	翌日より仰臥位で、顔面清 拭。安静解除から退院まで 顔面清拭。 （医師の許可あれば洗顔可）	安静Ⅰ度：仰臥位のまま顔 面清拭 安静Ⅱ度：ベッド上にて顔 面清拭 安静解除から退院まで清拭 （医師の許可あれば洗顔可）
歯みがき （含嗽）	翌日より（仰臥位介助）	翌日より（仰臥位介助）	翌日より（仰臥位介助）
ひげそり	翌日より（電動式不可）	翌日より（電動式不可）	翌日より（電動式不可）
清 拭 ベッドバス	術後翌日より可	術後翌日より可	安静Ⅰ度：清拭 安静Ⅱ度：ベッドバス
入 浴	術後10日頃より	術後10日頃より	術後14日頃より
食 事	安静中粥食 介助 安静解除になれば常食	安静中粥食 介助 安静解除になれば常食	安静Ⅰ度 粥食介助 安静Ⅱ度から常食
入院期間	14日～20日	14日～20日	21日～28日

*安静解除とは、安静Ⅲ度をいう。

眼科における安静度

安静度	I 度	II 度	III 度	IV 度
姿勢	仰臥位 頭部安静	起坐可	病棟内歩行可 (トイレ, 洗面のみ)	院内歩行可
歩行	不可	不可	可	可
排泄	床上	床上	トイレ	トイレ
処置 診察	床上	床上	診察室	診察室
食事	粥食(介助)	常食	常食	常食
洗面	顔面清拭	顔面清拭	顔面清拭	顔面清拭
歯みがき	歯ブラシ可 介助	歯ブラシ可 起坐にて自己で	洗面所 自己で	洗面所 自己で
入浴	不可	不可	医師より許可あれば可	医師より許可あれば可
洗髪	不可	不可	仰臥位介助	仰臥位介助
ひげそり	可(介助)(電動式不可)	可(電動式不可)	可(電動式不可)	可(電動式不可)

※術後の患者以外は水を使って洗面, 洗髪可, 電動式かみそり可
(網膜剥離の患者は, 術前, 後とも電動式かみそり不可)